

〈指導教授推薦文〉

指導教授 芝田正夫

梶原久美子「神戸市東灘区における日系ブラジル人コミュニティを考える」

梶原久美子さんは1999年度に1年間休学をしてオーストラリアへワーキングホリデーに行ってきました。そこでマイノリティの問題に関心を持ち、ゼミのテーマであるメディア・コミュニケーション論と結びつけて、エスニック・メディアの問題を卒業論文のテーマに選び、準備を進めていましたが、実際に神戸市東灘区の日系ブラジル人コミュニティに関わるなかで、メディアのみならず、コミュニティそのものについて、聞き取りをして実態を明らかにし、アイデンティティや共生の問題を探ってみたいと考え、テーマを変更しました。

こうしたわけで、メディア論を研究テーマとしている私の研究演習の卒業論文として異色のものとなり、また聞き取り調査などについては、こちらから十分な指導もできないままでしたが、日本語学習支援者養成講座に通い、その後日本語指導の民間ボランティア団体で活動し、また日系ブラジル人が多く勤務する食品工場でアルバイトをするなかで、巷間語られている日系ブラジル人像とはちがう実態を聞き書きのなかで探ろうとし、多くの参考文献の検討結果をあわせて「内なる国際化」について自分なりの一応の結論をまとめるに至った努力を認め、ここに「社会学部優秀論文賞（安田賞）」の候補論文として推薦いたします。